

# 令和6年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：25506

学校名：北野台小学校

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析	
体力・運動能力 ＜男子＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国平均を上回った種目 ⇒長座体前屈</li> <li>○前回の記録を上回った種目 ⇒長座体前屈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国平均を下回った種目 ⇒上体起こし</li> <li>○前回の記録よりも下回った種目 ⇒握力、上体起こし</li> </ul>	<p>握力や上体起こしといった筋力・筋持久力の低下に課題が見られるが、それ以外の種目においては、一定の成果が見られた。特に、柔軟性の向上が目立つが、さくら体操（動的ストレッチ）の成果によるものかどうか、取組を継続して経年分析を行う必要がある。</p>
体力・運動能力 ＜女子＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国平均を上回った種目 ⇒握力、長座体前屈、反復横跳び</li> <li>○前回の記録を上回った種目 ⇒握力、長座体前屈、反復横跳び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国平均を下回った種目 ⇒上体起こし、20mシャトルラン</li> <li>○前回の記録よりも下回った種目 ⇒上体起こし、20mシャトルラン、ソフトボール投げ</li> </ul>	<p>握力、敏捷性、柔軟性の向上が見られるが、さくら体操（動的ストレッチ）、チャレンジなわ跳びの成果によるものかどうか、取組を継続して経年分析を行う必要がある。上体起こし、20m シャトルラン、ソフトボール投げの結果から、筋持久力、全身持久力、瞬発力の低下がみられる。1週間の総運動時間の減少と関連が深いと考えられる。</p>
運動・スポーツへの意識、運動習慣等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「運動が好き」と回答する子どもの割合 ⇒男子 92.4% 女子 92.3%</li> <li>○「体育が楽しい」と回答する子どもの割合 ⇒男子 100% 女子 100%</li> </ul> <p>※R5 年全国・札幌市平均、昨年度（R4）の本校の結果と比べて、男女ともに上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体育授業を除く1週間の総運動時間が60分以上と回答する子どもの割合 ⇒男子 94.6% 女子 92.3%</li> </ul> <p>※R5 年全国・札幌市平均と結果と比べて、男女ともに上回っているが、女子は昨年度（R4）の本校の結果と比べて、下回っている。</p>	<p>「運動が好き」「体育が楽しい」という児童が増えてきていることから、昨年度までの取組に一定の効果があると考えられる。しかしながら、体力が低下している種目もあることから、今後は、授業での運動量の確保や運動の質を高めることが課題である。</p>
三つの取組	<p><b>①体育・保健等の授業の充実</b></p>	<p><b>②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組</b></p>	<p><b>③健康に関する指導の充実</b></p>
具体的な取組	<p><b>課題探究的な学習の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の中で課題（目標）を子ども自身から引き出し、「分かった」「できた」「楽しい」を実感しながら主体的に学べる授業づくりを行う。</li> <li>○用具の充実や場の工夫により、運動量を確保し、体力の向上をねらう。</li> <li>○ICTを活用しながら、自身の活動を客観視できるようにし、技術の向上を図る。</li> </ul> <p><b>年間を通じた重点運動の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時間、授業の導入で柔軟運動やなわ跳び、パワーアップ運動に取り組み、体力の向上、技術の向上を図る。</li> </ul>	<p><b>運動機会の充実を図る環境整備の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学級の係活動や、異学年交流の充実により、自発的な運動遊びを創造する取組を進める。</li> <li>○児童委員会を中心とした運動イベントの充実により運動機会を創出する。</li> <li>○休み時間に担任がともに遊んだり、児童会の活動と結び付けたりしながら、体を動かす機会を増やす。</li> <li>○学習活動や行事と連動させた運動遊びの場（50m走コース、的当てコーナー・握力計測コーナー）を設置し、児童が自主的に体を動かしたくなる環境を作る。</li> </ul>	<p><b>保健指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保健便りや生活リズムチェックシートの活用、保健室前の健康に関する掲示物を通して、望ましい生活習慣について啓発していく。</li> </ul> <p><b>食指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○給食と関連付けながら、望ましい食生活について伝えていく。また、給食室前掲示板に給食のレシピを掲示したり、日常的に学級に出向いてミニ食指導をしたりすることで食に対する関心を高めていく。</li> </ul> <p><b>性に関する指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○性差・LGBTQに配慮した教育活動を実施していく。</li> </ul>
家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域企業やスポーツ団体主催の出前授業の活用により、運動の楽しさを実感できる機会を創出する。</li> <li>○校内スポーツテストの結果と分析を家庭と共有することにより、放課後や休日に運動する意識を高めるきっかけづくりを行う。</li> <li>○生活リズムチェックシートに取り組むことで、望ましい生活習慣について児童と家庭とが一緒に考え、実践していくためのきっかけづくりを行う。</li> </ul>		